

令和 8 年 第 1 回 議 会 参 考 資 料

	ページ
1 福岡導水施設地震対策事業に係る債務負担行為について	1
2 福岡導水施設地震対策事業について	5
3 海水淡水化施設の設備更新について	8
4 管路整備事業について	9
5 令和 8 年度 国庫補助事業及び関係事業	11

福岡地区水道企業団

1 福岡導水施設地震対策事業に係る債務負担行為について

(1) 趣旨

福岡導水施設地震対策事業については、現在の工期内での完了が困難であるため、事業実施計画を変更し、工期を変更する必要がある。

このたび、水資源機構法第13条第3項の規定に基づき、水資源機構より当企業団に対して事業実施計画変更についての意見聴取とともに費用負担の同意を求められたため、債務負担行為の議会承認を得るもの。

(2) 債務負担行為の内容

事項	期間	
	現行	今回（案）
福岡導水施設 地震対策事業負担金	令和元年度から 令和14年度まで	令和9年度から 令和17年度まで

(3) 事業実施計画の変更（うち債務負担行為に係るもの）

	現行	今回（案）
工期	平成30年度から 令和14年度まで	平成30年度から 令和17年度まで

(4) 工期の変更理由

○新設水路（2号トンネル）

- ・用地取得地に携帯基地局の鉄塔があり、当該土地所有者と鉄塔所有者との鉄塔移転協議に時間を要し、用地取得が遅れたもの（+約0.5年）
- ・着工後、当初想定より硬い岩が確認されことから、掘削工法を機械掘削から部分発破掘削に変更する必要があるため、施工効率が低下したもの（+約0.5年）

○新設水路（1号トンネル）

- ・地質調査の結果、複数の破碎帯が確認されたため、高水圧対策としての地盤改良工の追加及びシールドマシンの改造が必要となったもの（+約2.0年）

(5) 今後の予定

- ・令和8年1月29日 令和8年第1回定例会で債務負担行為の議決
- ・令和8年2月 事業実施計画・費用負担同意の回答(福水企→水資源機構)
- ・令和8年2月～5月頃 事業実施計画の変更認可手続き（水資源機構）
- ・令和8年6月頃 事業実施計画の変更認可取得（水資源機構）

今後も引き続き事業費の削減および工期の短縮について、水資源機構へ要望していく。

【参考】＜福岡導水施設地震対策事業＞総事業費及び工期の変更について

(令和7年度 用水供給事業促進対策委員会 資料より)

1 報告の経緯

- 福岡都市圏で利用する水道水の約3分の1は福岡導水施設などを通じて、筑後川からの水で賄われているところであるが、同施設の地震対策及び老朽化対策を目的に平成30年度より水資源機構を事業主体とする福岡導水施設地震対策事業が実施されている。
- その中で、水資源機構から社会情勢の変化や現場条件の変化等に伴い、総事業費及び事業工期の変更が必要となる見込みとの報告がなされたため、令和7年第1回定例会において、総事業費及び事業工期の変更案に関する報告を行った。
- その後、国と水資源機構との間で協議が進み、変更案が確定したことから、水資源機構法第13条第3項の規定に基づき、水資源機構より当企業団に対して事業実施計画変更についての意見聴取とともに費用負担の同意を求められている。
- このため、変更案などについて、あらためて報告を行うもの。



2 事業概要

- (1) 事業主体 独立行政法人 水資源機構
- (2) 事業工期 平成30年度～令和14年度
- (3) 総事業費 約290億円
- (4) 主な進捗状況

区分		進捗率	備考
既設水路 (補強・補修)	トンネル	0%	未着手
	施設	50%	1施設/2施設 完了
新設水路 (バイパス水路)	1号トンネル	0%	未着手
	2号トンネル	約53%	掘削完了(5.5km/5.5km) 覆工進捗5%(0.3km/5.5km)



写真-1 新設水路(2号トンネル) 覆工状況

3 変更案（令和7年第1回定例会で報告済み）

（1）変更内容

	現行	変更後
総事業費	約290億円	約520億円
うち福岡地区水道企業団分	約288億円	約517億円
国庫補助金【1/3】	約96億円	約172億円
構成団体出資金【1/3】	約96億円	約172億円
企業団自己資金【1/3】	約96億円	約172億円
事業工期	15年 (H30～R14年度)	18年 (H30～R17年度)

（2）変更理由

①総事業費について

以下の理由により、約230億円増額見込み

- 労務単価や資材単価等の物価上昇による増 +約100億円
- リスク対策費^{※1}計上による増 [参考① 参照] +約44億円
- 現場条件の変化や地元要望への対応による増 [参考① 参照] +約35億円
- 工期延期に伴う経費の増 +約19億円
- 工事費積算基準の改定等の社会的要因による増 +約33億円
- 発生土の運搬先調整等によるコスト縮減 ▲約1億円

※1 現時点で確定できない将来の事業費の変動要因に対応するための費用

②事業工期について

以下の理由により、3年延長となる見込み

【新設水路（2号トンネル）】

- 用地取得地に携帯基地局の鉄塔があり、当該土地所有者と鉄塔所有者との鉄塔移転協議に時間を要し、用地取得が遅れたもの (+約0.5年)
- 着工後、当初想定より硬い岩が確認されことから、掘削工法を機械掘削から部分発破掘削に変更する必要がある、施工効率が低下したもの (+約0.5年)

【新設水路（1号トンネル）】

- 地質調査の結果、複数の破砕帯が確認されたため、高水圧対策としての地盤改良工の追加及びシールドマシンの改造が必要となったもの [参考② 参照] (+約2.0年)

4 今後の予定

- ・ 令和8年1月 令和8年第1回定例会で債務負担行為の議決
- ・ 令和8年2月～5月頃 事業計画の変更認可手続き（水資源機構）
- ・ 令和8年6月頃 事業計画の変更認可取得（水資源機構）

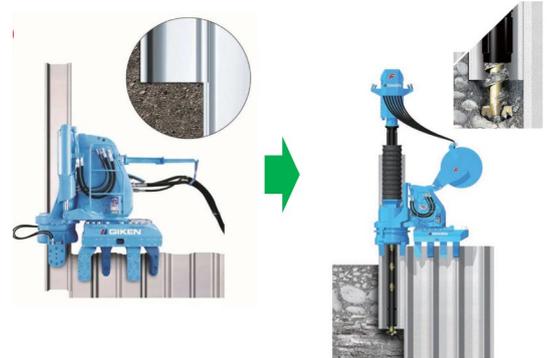
今後も引き続き事業費の削減および工期の短縮について、水資源機構へ要望していく。

① 総事業費について

リスク対策費計上による増

地質条件が想定と異なった場合に生じる矢板施工機械の変更(図-2)やシールドマシンにおけるビット^{※2}交換頻度の変更などを行ったもの

※2 シールドマシンの先端に付けられた刃で、岩盤などを掘削するために使用される



通常(圧入工法)

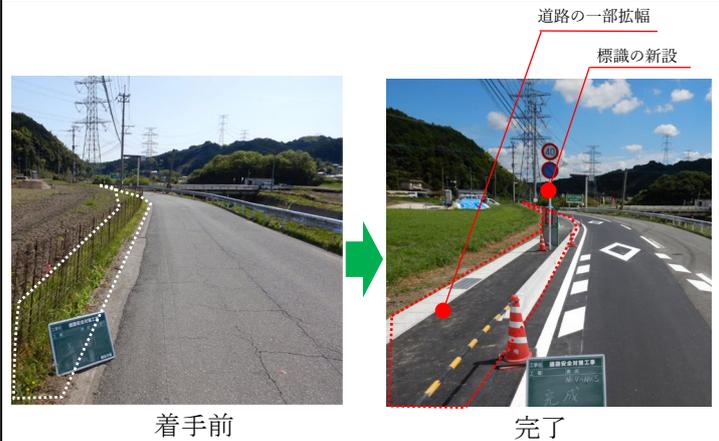
硬質地盤対応機種による圧入工法

図-2 矢板施工機械の変更

現場条件の変化や地元要望への対応による増

地盤が想定より硬質であったことによる新設水路(2号トンネル)における掘削工法の変更や地元要望による工事車両の安全対策^{※3}などを行ったもの

※3 道路の一部拡幅・標識の新設(写真-2)、交通誘導員の配置など



着手前

完了

写真-2 道路の一部拡幅・標識の新設

② 事業工期について

新設水路(1号トンネル)の工法等変更に伴う工期延期

新設水路(1号トンネル)の施工箇所において、詳細な地山評価を行った結果、複数の破碎帯^{※4}が確認されたため、シールドマシン内部からの地盤改良工を可能にする仕様変更(写真-3)や地盤改良工の追加が必要となったもの

※4 断層運動により、地層あるいは岩石が破碎された部分が一定の幅をもち、一定の方向に延びている部分



写真-3 シールドマシン内からの地盤改良工イメージ

2 福岡導水施設地震対策事業について

(1) 概要

福岡導水施設の地震及び老朽化対策を目的として、(独)水資源機構が実施する本事業について、当企業団は費用の一部を負担するとともに、(独)水資源機構へ協力して事業の早期完了に努める。

《事業計画》

事業主体	独立行政法人 水資源機構
箇所	久留米市高野（筑後川）～大野城市牛頸（牛頸浄水場）
工事概要	① 大規模地震対策 【耐震補強】取水施設、味坂水管橋、1号・2号トンネル、山口川サイホン、その他付帯施設 【併設水路築造】思案橋水管橋、1号・2号トンネル ② 老朽化対策 【劣化部の補修】思案橋水管橋、1号・2号トンネル
予定工期	15年（平成30年度～令和14年度）
予定事業費 (当企業団負担額)	約290億円（うち国庫補助金 約97億円（1/3）） （約192億円）

(2) 令和8年度の予定

（単位：千円）

事業費	3,198,290
福水企 費用負担額	3,172,256
補助金	1,057,418
負担金	2,114,838

《事業内容》

- ・2号トンネル併設水路工事、山口サイホン併設水路工事、思案橋水管橋併設水路工事
- ・1号トンネル併設水路工事、取水施設震補強工事に係る設計

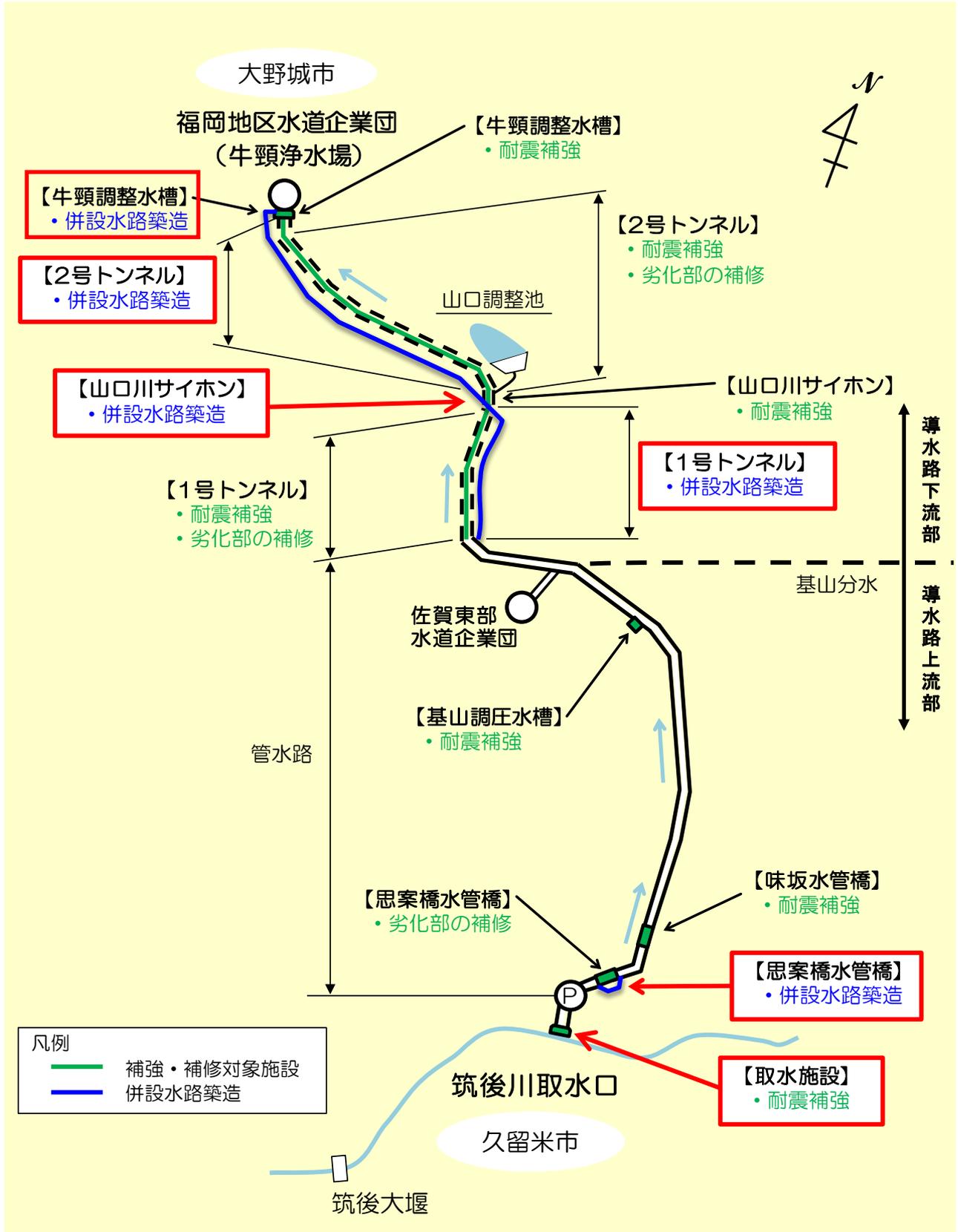
(参考) 令和7年度の事業概要

（単位：千円）

事業費	福水企負担金	主な事業内容
2,152,041	1,426,929	2号トンネル併設水路工事、山口サイホン併設水路工事、思案橋水管橋併設水路工事、取水施設震補強工事に係る設計 等

事業概要図

令和8年度実施箇所



3 海水淡水化施設の設備更新について

(1) 事業概要（令和3年第1回議会報告）

平成17年度に供用開始した海水淡水化施設の設備更新については、更新時期を迎えた機器毎に更新を行う。多々良混合施設の更新についても、海水淡水化施設と同様に、更新時期を迎えた機器毎に更新を行う。

(2) 令和8年度の更新事業及び予算額

令和8年度は次の更新工事の発注及び施工を行う。

令和8年度 予算額 1,323,882 千円

《令和8年度の発注工事》

海水淡水化センター外 遠方監視制御設備更新工事 等

《令和7年度以前の発注工事》

- ① 海水淡水化センター 高圧 RO 膜設備更新工事 (令和5～8年度)
- ② 海水淡水化センター 高圧 RO ポンプ設備外更新工事 (令和7～12年度)
- ③ 海水淡水化センター 監視制御設備更新工事 (令和7～10年度)
- ④ 海水淡水化センター 電動弁更新工事 (令和7～8年度)
- ⑤ 多々良混合施設 監視制御設備更新工事 (令和7～10年度)

※ ②③⑤は総合評価による入札手続き中であり、令和8年第2回定例会で報告予定

(3) 全体スケジュール（予定）

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)	2035 (R17)	2036 (R18)
海水淡水化センター	高圧 RO 膜設備等													
		高圧 RO ポンプ設備等												
			監視制御設備等					導水ポンプ、薬注設備等						
							高圧・低圧電気設備等		特高受変電設備等					
														付帯
多々良混合施設			監視制御設備等											
							受変電設備等							
												ポンプ設備等		

➡ : 機械設備更新工事
 ➡ : 電気設備更新工事
 ➡ : 建築付帯設備更新工事

4 管路整備事業について

(1) 事業概要

管路整備計画（平成26年2月策定）に基づき、第Ⅰ期の事業において、大規模地震に備えた耐震化及び危機対応のための機能強化を計画的に推進する。

第Ⅰ期	平成27～令和9年度
事業内容	下原系、夫婦石系送水管幹線管路の新設及び緊急時用連絡管整備 口径1650mm～800mm（幹線）他 全体延長 約32.2km
事業費	約295億円

(2) 事業の整備状況

警固断層対策

- ・警固断層対策 全体延長 約7.5km（供用中）

下原系・夫婦石系幹線管路整備

- ・下原系幹線管路 全体延長 約17.2km（平成29年度着手）
※一部区間（約5.1km）供用中（令和6年度）
- ・夫婦石系幹線管路 全体延長 約7.4km（令和3年度着手）

整備状況

- ・令和8年度末整備済延長 約26.3km（整備率81.7%）

整備年度	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)	令和8年度(予算)
事業費(千円)	2,327,009	3,644,724	6,370,006	4,895,800
整備延長(km)	2.5	2.0	4.0	3.4

- ※・令和7年度（予算）：令和7年度当初予算 4,848,322千円
令和6年度繰越予算 1,521,684千円 合計6,370,006千円
- ・令和8年度（予算）：令和8年度当初予算 3,557,351千円
令和7年度補正予算 1,338,449千円 合計4,895,800千円

(3) 令和8年度の整備概要

下原系・夫婦石系幹線管路整備

送水管の新設 口径 1100mm ～ 350mm 延長 約3.4km
実施設計委託 等

◆下原系幹線管路整備

送水管布設工事

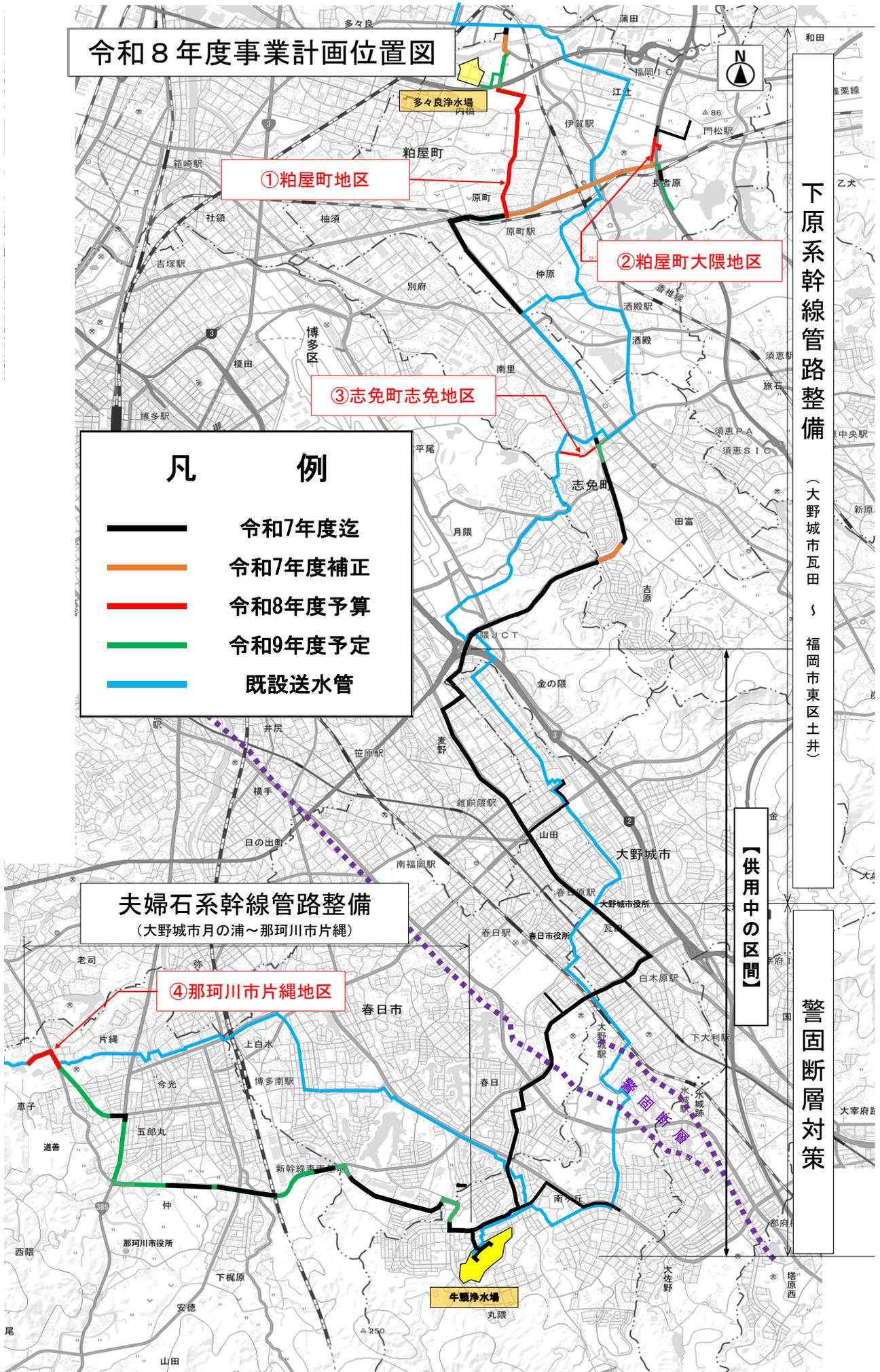
- ① 粕屋町戸原西地区 1件
- ② 粕屋町大隈地区 1件
- ③ 志免町志免地区 1件

◆夫婦石系幹線管路整備

送水管布設工事

- ④ 那珂川市片縄地区 1件

令和8年度事業計画位置図



① 粕屋町地区

② 粕屋町大隈地区

③ 志免町志免地区

凡 例

- 令和7年度迄
- 令和7年度補正
- 令和8年度予算
- 令和9年度予定
- 既設送水管

夫婦石系幹線管路整備

(大野城市月の浦～那珂川市片縄)

④ 那珂川市片縄地区

下原系幹線管路整備

(大野城市瓦田～福岡市東区土井)

【供用中の区間】

警固断層対策

5 令和8年度 国庫補助事業及び関係事業





【福岡県】



【大分県】

【熊本県】

筑後川水系ダム群連携事業

事業期間	平成13年度～令和19年度
総事業費	約740億円
事業概要	導水路約10km、最大導水量2.0m ³ /s

凡	例
構成団体	
貯水施設 (ダム)	(稼働中)
※参考貯水施設	(稼働中)
取水施設	
福岡導水	(トンネル)
導水施設	
浄水施設 (浄水場など)	
送水施設 (送水管)	
配水池 (各構成団体受水)	
海水淡水化施設	
海淡導水	

※参考貯水施設

松原・下釜ダム：洪水調節、不特定用水、上水道、発電
 小石原川ダム：洪水調節、不特定用水、上水道、湯水対策

(参考)

R7補正予算 (R8管路整備前倒し箇所)	
-------------------------	--